



横浜市立市民病院

こころ。

第14号

2015.9 発行

横浜市立市民病院だより

Contents

特集 患者さんの安心と笑顔のために
～入院前面談室がオープンしました～

- イベント紹介
- 「みなさまの声」のご紹介
- Topics1 院外処方せんFAX送信機「箋太郎」のご案内
- Topics2 認定看護師紹介
- 登録医療機関をご紹介します
- おすすめレシピ「ひじきとトマトのスパゲティー」
- 病院長コラム

種 名：レッサーパンダ

写真提供：公益財団法人 横浜市緑の協会

特集

患者さんの安心と笑顔のために 入院前面談室がオープンしました

西棟1階（リハビリテーション室前）に入院前面談室ができました。ロゴマークである「ひまわり」のような、明るく ゆったり 落ち着いた 雰囲気的空間です。患者さんにとって大きな出来事である入院生活を、安全・安心に過ごしていただけるよう看護師による入院前面談をはじめました。

入院前面談の

メリット

入院生活は、住み慣れた環境とは全てが異なります。入院前に患者さんの今までの生活・食事・薬などの大切な情報を確認することで、入院中に起こりやすい問題を共有するとともに、退院後の生活を一緒に考え準備することができまます。例えば、特に高齢者に発生しやすい転倒を防止するためのポイントを確認しながら、入院中の注意点や転びにくい履物の紹介などを行っています。さらに必要な場合には、栄養士、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、リハビリテーションスタッフなどの専門職が入院前からお話しを伺い、順調な回復と退院後の生活復帰に向けた

お手伝いをいたします。

また、面談の際に入院費の支払い方法、レンタルパジャマの借り方など、入院生活に必要な事柄について、丁寧にご説明させていただきます。

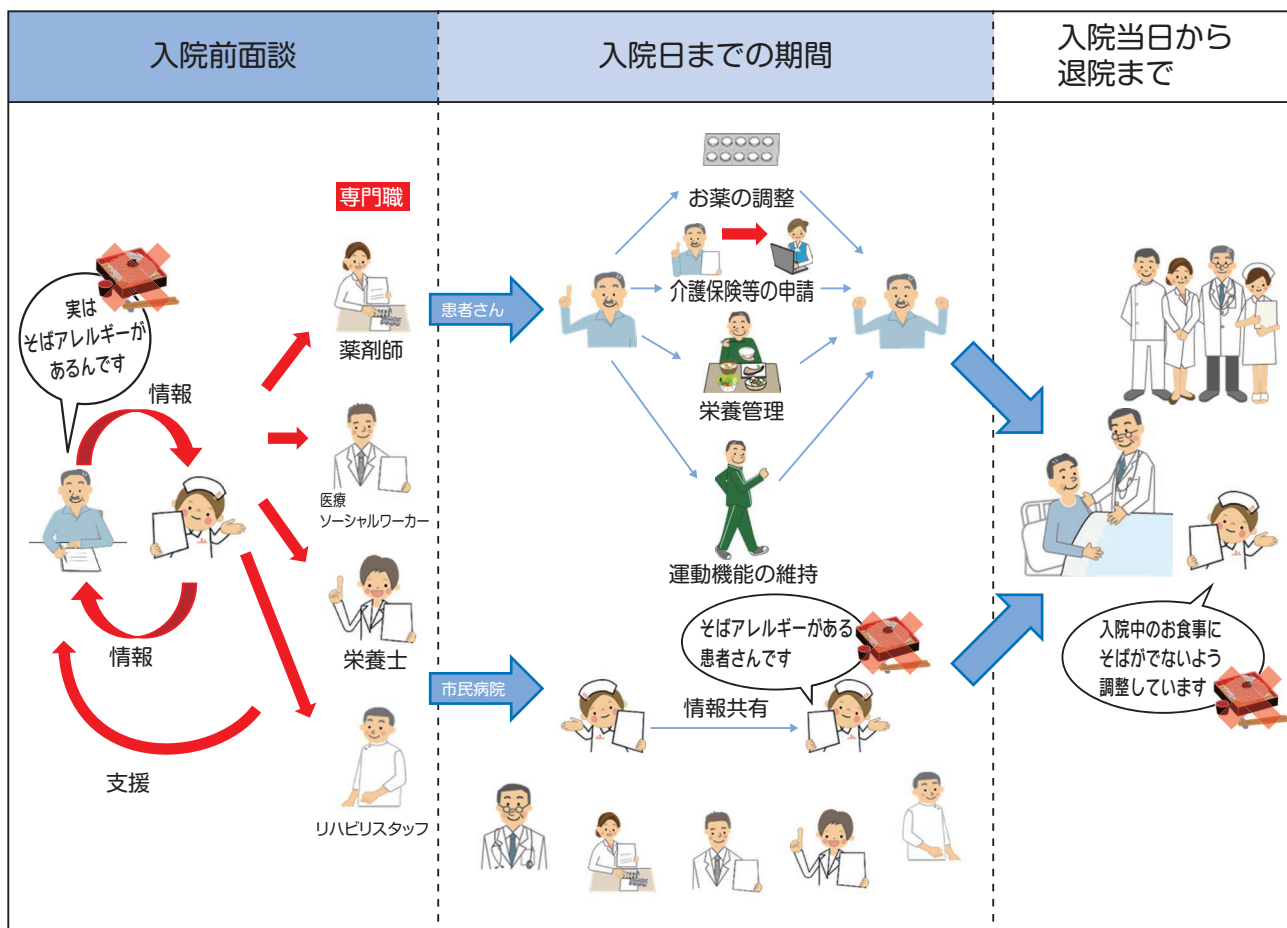
入院前面談を通じて

目指すこと

入院前面談では、「入院」という非日常のできごとに共に向きあい、患者さん・ご家族の「こうしたい」という思いを大切に、退院後までの生活を思い描くお手伝いをしていくことを目指しています。

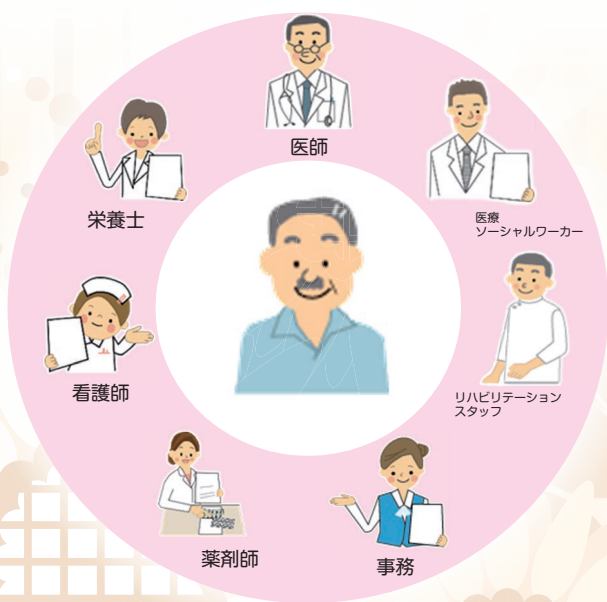
患者さんと入院の目的、治療内容、入院期間を共有し、入院から退院後を見すえながら、患者さん





ご家族の抱えている心配事についてお話を伺った上で、現在の体調、生活状況などの情報から、予測される問題と解決策を経験豊富な看護師とともに一緒に考えていきます。

また、患者さんには入院までの時間を「一心と体の準備期間」として有効に過ごしていただき、病院では患者さん・ご家族の思いを病院全体で共有し、入院当日には万全な準備でお迎えできるようお願いしておりますので安心してご来院ください。



～患者さんの安心と
笑顔のために～

～おわりに～

現在、入院前面談は、一部の診療科から開始しています。今後拡大に向けた準備をすすめてまいります。私たち入院前面談室のスタッフは、患者さん・ご家族と市民病院の医療を、安全・安心になく窓口として、ホスピタリティをお届けする役割を担ってまいります。どうぞよろしくお願い致します。

イ ベ ン ト 紹 介

～市民病院での最近の出来事や職員の院内での取組をご紹介します～

市民公開講座「知っていますか？～前立腺がんについて～」を開催しました。

9月13日

ブルークローバー・キャンペーン 2015 の一環として、市民公開講座「知っていますか？～前立腺がんについて～」を9月13日（日）にかなっくホールで開催しました。

前立腺がんの正しい知識や「早期発見・適切治療」の大切さを伝えていくことで、進行した状態での発見や前立腺がんを命を落とす人を少なくしていくことを目的に、前立腺がんの病気・診断・治療・検診について、当院泌尿器科の太田医師、澤田医師、泉医師、保健師の浦島による講演と質疑、がん検診のPRを行いました。

当日は約200の方が参加され、「いろいろな治療法があることを知ることができ参考になった」、「過去10年間の実績紹介が具体的で良かった」、「定期的な検診が必要だと思った」等のお声をいただきました。ありがとうございました。



「一日メディカルパーク 2015」を開催しました。

7月25日

昨年度大好評をいただいた「一日メディカルパーク 2015」を7月25日（土）に開催しました。今年度は昨年度の20ブースから、更に25ブースまで拡大し、全国の小中高生から応募をいただきました。当日は抽選で選ばれた小中高生の参加者の他、付添いの保護者を含めると約700の方に、病院内の各ブースをまわっていただきました。

「実際に操作や体験できるところが良かった」「あこがれの仕事の経験が出来て良かった」「病院をより身近に感じることができた」など、医療の現場で貴重な体験を楽しんでいただきました。ありがとうございました。



横浜市立病院（市民病院、脳卒中・神経脊椎センター）では、看護師を募集しています。詳しくは右のQRコードを読み取るか、

横浜市看護職員 採用 検索 でホームページをご覧ください。

※アルバイトも同時募集中。 詳しくは045-331-1961(代)



「みなさまの声」のご紹介

市民病院に対するご意見・ご要望をはじめ、「みなさまの声」を通じて貴重な声をお寄せくださり、いつもありがとうございます。

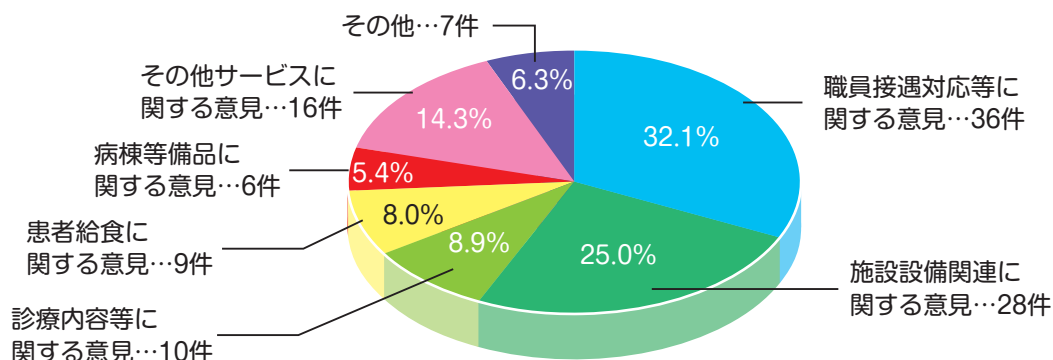
このページでは、「みなさまの声」で頂いたご意見やご要望を紹介しています。

今回は、平成27年 4月1日から 7月31日の間に101件頂きました。

内訳は、以下のとおりです。

受付総数 101 件

●意見概要



※1件の投書に複数の意見が含まれている場合があるため、受付件数と意見概要の件数は一致しません。

患者さんや
ご家族からの意見と
当院の対応・考え方
などを一部紹介
します。



みなさまの声

ご意見・ご要望を
お気軽にお寄せ下さい

Q 看護補助者の言葉使いが悪いです。
また、大きな声で話しているので止めてください。

A ご指摘については、重く受け止め、病院職員全体のものと考え、患者さんやご家族の立場に立ったきめ細やかな対応を心がけてまいります。

Q トイレと風呂がもう少しキレイだいいと思います。

A 今後、ご指摘を受けることがないように、清掃を徹底してまいります。

Q トイレの個室が狭いのは仕方ないですが、ドアの建付けが悪く勢い良く閉まって大きな音がします。

A トイレのドアの建て付けについて、蝶番を調整し、さらにクッション材を取り付けることで大きな音が発生しないように改善しました。

Q 救急で来院し、入院しました。朝から昼までお世話になった看護師の態度がとても良く表彰に値する素晴らしい方でした。

A 入院された患者さんやご家族の方の立場を考えた診療や看護を行うよう努力しているところです。そのような中、お褒めの言葉をいただき、大変うれしく思います。

Q 先月、入院・手術をしました。スタッフの皆さんはとてもテキパキとなおかつ優しく対応していただき、感謝しております。食事量も適量でおいしかったです。トイレも新しい設備ではありませんが、いつも清潔で快適でした。外来の受付の人も丁寧に説明してくださり、ありがとうございました。

A 感謝の言葉に職員一同、大変うれしく思います。当院は、患者さんの要望に応えるだけでなく、患者さんに寄り添い、患者さんの状況や気持ちに思いをめぐらせながらサービスを提供していくことに努めています。

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。
みなさまの声をご参考に、改善に取り組みより良い病院を目指していきます。

● Topics 1 ●

市民病院をより便利に利用していただくために 「院外処方せんFAX送信機「箋太郎」のご案内」

市民病院では患者の皆さまにより便利に利用していただくために、保土ヶ谷区薬剤師会より院外処方せんFAX送信機「箋太郎」を提供いただき、設置しています。



「箋太郎」って？

市民病院の外来診察室で受け取った院外処方箋を、**かかりつけ薬局**に事前にFAXで送信できる機械です。

メリットは？

かかりつけ薬局に事前にFAX送信することで、薬局へ行った際の待ち時間が短くなります。※1
また、薬局では事前に薬の内容がわかるので、お薬の手配や、患者さんへの説明の準備を十分にすることができます。

「箋太郎」の使い方は？

「箋太郎」では機械に登録している薬局に簡単にFAXすることができ、タッチパネルの画面の案内に従って、受け取った処方せんを送信してください。※2※3

「箋太郎」の使い方がわからない場合には、薬剤部9番窓口までお越しください。

「かかりつけ薬局」とは？

かかりつけ薬局とは処方せん薬をもらったり、薬や健康に関する相談ができる身近な薬局のことです。お使いの薬の情報や副作用、アレルギーの情報などを記録し、お薬の飲み合わせの確認や重複使用の防止に役立てています。また、配送や、飲みやすい方法での調剤でサポートしてくれます。是非自宅近くや、いつも行く商店街の薬局など、気軽に相談でき信頼できる「かかりつけ薬局」を持ちましょう。

※1 全てのお薬の調剤が終了しているわけではありません。

※2 処方せんの期限は4日（発行日含む）です。4日以内に薬局に処方せんの原本をお持ちいただかないと、薬はお渡しできません。

※3 横浜市薬剤師会に登録していない薬局には、手動でFAX番号を入力して送信することができます。



● Topics 2 ●

認定看護師紹介

認定看護師は、ある特定の看護分野において、日本看護協会の定めた資格を有する者をいいます。

3人の新しい領域の認定看護師が加わり、市民病院の認定看護師は13領域21名となりました。

手術室看護認定看護師 三田 久美子



手術室で勤務していて、自分の行っている看護についてもっと深めたい、患者さんにより良い手術環境を提供したいという思いから認定看護師になることを目指しました。

手術を受ける患者さんに手術環境を提供するため、日々頑張っています。

さまざまな不安を抱えて手術を受ける患者さんに、より安心・安全な手術環境を提供できるように努力していきたいと思っています。

摂食・嚥下障害看護認定看護師 福岡 太郎



尊敬する先輩の影響から、認定看護師になることを目指しました。

以前から栄養や嚥下（飲み込み）を支援する回診チームに参加し、入院患者さんの栄養状態の改善や口から食べる機能の回復に携わっています。7月に認定看護師になったばかりですが、患者さんの「食べる」ことを通して、患者さんのできることを拡大できるように頑張りたいです。

認知症看護認定看護師 内芝 恵



せん妄などで治療が続くことが困難になってしまふ高齢の患者さんに、安心して治療が受けられるような対応ができるように正しい知識やケアを学習したいと、認知症看護認定看護師を目指しました。

認知症患者さんの代弁者として尊厳を守り「その人らしさ」を大切にしながら、治療を受けて頂けるようにしていきたいです。

またご家族の不安や悩みも一緒に考え、より良い生活が続けられるようサポートしたいと考えています。

西区 久保クリニック



院長 松本 千鶴先生(前列右)
とスタッフの方々

【診療科目】

内科 外科 呼吸器科

消化器科 循環器科 皮膚科

当院は、昭和 62 年に先代の久保先生が開業しました。オフィス街の中にあるため、地域のみならず、会社勤めの方々に来院していただいています。

内科一般（生活習慣病）や外科（傷・熱傷）の処置（湿潤療法など）、上部内視鏡検査、超音波（腹部、乳房）、癌の終末期や高齢者の在宅医療にも力を入れています。また、循環器・皮膚科は専門外来を設け、海外渡航に必要なワクチン接種なども対応しています。

明るくクリニックで、ちょっとした事でも立ち寄れるような相談所を目指していきたくて思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

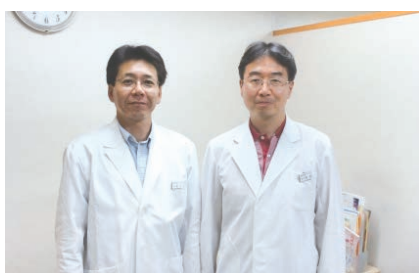


診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～13:00	○	○	○	○	○	○
15:00～19:00	○	○	○	○	○	×

休診日：日曜日・祝日／土曜日午後

〒 220-0004
横浜市西区北幸2-5-15
プレミア横浜西口ビル 1F
電話：045-316-2555
URL：<http://kubocli.com/>

西区 徳井内科クリニック



院長 船江 修先生(左)
理事長 徳井 幹也先生(右)

【診療科目】

内科 消化器内科 糖尿病内科

当院は 2004 年、横浜駅西口に開院しました。糖尿病をはじめとした生活習慣病外来と、消化器を専門とした外来を特徴とした内科クリニックです。

糖尿病専門医を中心に看護師（糖尿病療養指導士）や管理栄養士らと協力したチーム医療で、多方面から生活習慣病を指導・改善いたします。

消化器専門医による外来や、内視鏡専門医による胃カメラも実施しています。

皆様のご来院を心よりお待ちしております。



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～13:00	○	○	○	○	○	○
14:30～18:30	○	○	○	○	○	×

休診日：日曜日・祝日／土曜日午後

〒 220-0004
横浜市西区北幸 1-2-13
横浜西共同ビル 3F
電話：045-410-0355
URL：<http://www.tokui-clinic.com/>

ひじきとトマトのスパゲティ

〔1人当たり栄養量：熱量513kcal、タンパク質14.2g、塩分1.7g〕

買い置きしておく便利な
乾物を使った料理です

【材料】2人分

芽ひじき（乾燥）…… 10g
にんにく……………ひとかけ
トマト……………1個
オリーブオイル… 大さじ2杯

茹でたスパゲティ
……………2人前（乾燥200g）
塩小さじ……………1/2杯
こしょう……………適宜

【作り方】

- ①芽ひじきをたっぷりの水に20分ほど浸して戻す。
- ②オリーブオイルとスライスしたにんにくをフライパンに入れ火をつけ、にんにくの香りをオイルに移す。
- ③水気を切ったひじきをいれて塩こしょうする。パチパチはぜる音がしてひじきが熱くなったら、ざく切りにしたトマトを入れ、茹でたスパゲティを入れ、さっくり混ぜ合わせ皿に盛る。



- ♥ オリーブオイルの代わりにバターでも合います。
- ♥ ひじきや切り干し大根などは水に戻すと4～5倍に増えます。戻しすぎないように注意しましょう。

♥ 乾物は日持ちがして軽くて場所をとらず、災害時などもしもの時にも心強い味方です。

また単に水分が抜けただけでなく旨味成分が増していたり、ミネラルや食物繊維が豊富にとれます。乾物は煮物の印象が強いですが、水で戻せばいろいろな料理に使えます。気軽に利用してみましょう。



（栄養部 管理栄養士 井尻 玲子）

耳寄り情報！

ホームページでも健康レシピを掲載しています！
横浜の名店シェフと市民病院がコラボして、美味しくてヘルシーなメニューを開発しました。あわせて栄養士のアドバイスとシェフのコラムも掲載しています。
是非ご覧ください。

アクセス方法：<http://yokohama-shiminhosp.jp/introduction/recipe.html>

もしくは、「横浜市民市民病院」→「病院のご紹介」→「健康レシピ」



病院長 コラム



病院長 石原 淳

記録的な猛暑から一転して、秋雨前線の停滞で天候不順の日が続きました。皆様、体調はいかがですか。

今号では「入院前面談」について特集をさせていただきました。

市民病院は2020年の新病院開院を目指し、様々な新しい取組を始めていますが、この「入院前面談」は其中でも特に重要な取組です。入院前の面談では、看護師、薬剤師、栄養士などの専門職が、患者さんご本人やご家族と様々な情報を共有することで、入院中の安全を確保し、安心して住み慣れたご自宅や地域での療養に移ることができるようサポートさせていただくことを目的としています。

患者総合サポートセンターでは、入院前面談の他、地域連携や医療福祉相談、在宅ケア相談など患者さんをサポートする体制を充実させております。ご心配やお困りの事がありましたら、どうぞご相談ください。

横浜市立
市民病院

診療
受付

月曜日から金曜日（土曜日、日曜日、祝日及び年末年始は休診）

○初診の方 午前8:30～11:00（診療開始8:45）

○再診の方 午前7:30～11:00（診療開始8:45）

※市民病院は原則、初診紹介制となっております。他の医療機関からの紹介状をお持ちください。

〒240-8555 横浜市保土ケ谷区岡沢町56番地 ☎045-331-1961（代）

編集発行：横浜市民市民病院 広報委員会



○平日・日中

原則、救急車で搬送された患者さんのみ受入れを行っています。

○夜間・休日

必ずお電話にて連絡の上ご来院ください。